

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

購読の申し込みは
日本医労連へ

購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費を含む)
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替00160-6-84866
ホームページ http://www.irouren.or.jp/
電子メール n-ask@irouren.or.jp

職場・地域政策に影響力ある 強い組織にしよう

最賃アクションプラン及び組織拡大・強化対策会議開催

9月14日～15日、「最賃アクションプラン及び組織拡大・強化対策会議」がエデュカス東京で開催され、44組織76名が参加しました。会議では、最賃アクションプランの基調報告と組織拡大強化・提案が行なわれ、4つの指定報告や全体討論、分散会で活発な討論や意見が出されました。



主催者挨拶として日本医労連・森田のふ中央執行委員長は、「安倍政権は、憲法でも働き方の問題でも労働者いじめ、国民いじめの政治をはじめ、国民いじめの政治をしようとしている。戦争する国にさせない大切な時期。人間らしく働き、生きる社会のためにも、最新アクションプランの議論をすすめてほしい。また、組織拡大強化に、みんなで踏み出すような意志統一の場にしていこう」と呼びかけました。



森田進書記長は「集会をへて書記長のとめを下記に掲載します」。

組織拡大強化では、三浦宜子中央執行委員長が、「組織拡大強化3か年計画の20万人医労連実現をめざし、今年度、秋闘で6000人、1単組・支部あたり6か月で6人の拡大をやりきろう」と提起しました。

指定報告は、全JCHO病院労組、北海道、愛知、そして佐賀県医労連が行ないました(詳細は2面参照)。

全体討論では、最賃アクションプランについて、職場や地域でどう取り組んでいくのかなど課題を出しあいました。

組織拡大については、業務が多忙になり、かつ各組織の世代交代の時期になっていることでの困難などを率直に出しあい、20万医労連を目指す立場で積極的な議論が行なわれました。

森田進書記長が「組合活動を活発にさせること、組織拡大に繋がる。非正規労働者の拡大についても無期転換と共済を一緒に学習して組織化を図っていきたい。職場で働きかけを強めて組織拡大に繋げていこう」とまとめ、会議を終了しました。



日本医労連書記長 森田 進

1. 来年1月の中央委員会でもプラン確定

全労連「全国最賃アクションプラン」に結果し、すべての労働者が8時間働けば「健康で文化的な最低限度の生活」が維持できる最低賃金の底上げを実現するために、全国一律最低賃金制の創設をめざす。この全労連の取り組みと合わせて、全国を適用地域とした医療・介護分野の産別最賃(看護師や介護職など、職種の最低賃金)の新設など、日本医労連「全国最賃アクションプラン」の取り組みを提起し、来年1月の中央委員会でのプラン確定をめざして、職場での旺盛な学習・討議を呼びかけます。

2. 各組織での議論経過から見えてきた問題

「最賃アクションプラン及び組織拡大・強化対策会議」では、議論経過や学習・討議をすすめる際に問題点を洗い出しました。参加者からは、看護師や介護職の募集の際に提示される時給単価は地域最賃をかなり上回っていることあり、職場では最低賃金に対する関心が薄く、まずは意識を高めるための教育宣伝活動が必要である。最低賃金を全国一律にして引き上げる重要性が浸透していない。地域最賃引き上げの実現

「最賃アクションプラン」の学習・討議をすすめよう

「最賃アクションプラン」及び組織拡大・強化対策会議」では、議論経過や学習・討議をすすめる際に問題点を洗い出しました。参加者からは、看護師や介護職の募集の際に提示される時給単価は地域最賃をかなり上回っていることあり、職場では最低賃金に対する関心が薄く、まずは意識を高めるための教育宣伝活動が必要である。最低賃金を全国一律にして引き上げる重要性が浸透していない。地域最賃引き上げの実現

脈路

「百問は一見にしかず」には続きがあるそう。百問は一行にしかず。「百問は一見にしかず」つまり、聞いて、果にしからず、聞いて、見て、考え、行動し、結果を出すのが大事だと8月9日、長崎市長は「平和宣言」で世界各国のリーダーに呼びかけた。「原爆が人間の尊厳をどれほど残酷に踏みしづたのか、あなたの目で見て、耳で聞いて、心で感じて下さい。もし自分の家族がそこにいたら、と考えてみてください」▼国連では7月7日、人類史上初めて核兵器を違法化する画期的な「核兵器禁止条約」が採択された。条約は、核兵器の使用や開発、実験だけでなく、使用をちらつかせて脅すこと(核抑止力)も禁止。日本は唯一の戦争被爆国でありながら、この条約参加に背を向け、安倍首相は被曝者団体の代表から「あなたはこの国の総理ですか」と追られた▼政府は「福島原発事故で情報は隠そう、隠そうとしたのに、北朝鮮のミサイル発射では過剰な程アラートを鳴らすのはなぜ?」来年度予算はミサイル防衛関連だけでも1791億円が計上され、軍事費総額は5兆2551億円と過去最大になる▼いよいよ総選挙。政治に問われるのは税金を誰の為にどう使うのか?よく考え、主権者として行動し、医療・介護の充実と原発ゼロ、憲法9条を守り、核兵器廃絶につながる確かな結果を出そう。

看護職員の労働実態調査

2017年度「看護職員の労働実態調査」記者発表
2017年9月20日記者発表をしました。概要は3面。

3. 最低賃金引き上げの重要性
私たちは、この間の春闘で「平均4万円以上」の大幅賃上げ要求を掲げました。その要求根拠は、生計費に基



20万医労連の達成めざし、17秋闘で6000人の拡大をやりきる

17秋 組織拡大 方針の具体化



三浦 宜子 日本医労連 組織共闘局長

10〜12月組織拡大強化月間

日本医労連は、第67回定期大会で、9年連続増勢、24年ぶりに過去最高を更新し17万6,876人を達成しました。全国の奮闘による貴重な到達点です。組織拡大3カ年計画の初年度目標18万人を確実に達成するには、転退職等による年間の減少(約1万2000人)、春の拡大実績(1万人)を加味すると、秋期(7

指定報告



坂本 諭 北海道医労連 書記次長

「無期雇用転換」非正規・組織化プロジェクトの取り組み

道医労連では、道労連とも共同し、無期雇用転換ルールを活用した非正規労働者の組織化に取り組んでいます。パート職員の集まりやすい昼休みなどを利用し、学習会を実施しています。無期転換になれば、①雇止め不安から解消、②権利行使しやすくなる、③労働組合に入りやすくなることから、「労働組合に入って無期雇用になろう」と呼び

12月に6,000人(1単組・支部が毎月1人、6か月間で6人)の拡大が必要です。毎月拡大にチャレンジ

全この組織で、組織拡大を重点に位置づけ、毎月拡大に取り組みことは要の課題です。毎月1人以上に加入の呼びかけを行なう組合員(チャレンジャー)を10人に1人目標で広げます。退勤時間調査を組合を知らせ加入を呼びかける場としても重視し、全ての単組・支部が取り組みます。新人拡大に向け秋から準備

今年の新採用者の半数以上が未加入のままです。秋の月

かけています。道北勤労労では31名、十勝勤労労では70名ものパート職員が学習会に参加し、計2名が組合に加入しました。2018年4月を前に、学習からの組織化の取り組みを強めます。



西尾 美沙子 愛知県医労連 副委員長

退職しても医労連の仲間

愛知では、「一人の加入は愛知県医労連みんなの喜び」を合言葉に、FAXニュース・Lineグループなどを活用し、組織拡大に取り組んでいます。

愛知は、05年までは毎年組織減でしたが、06年度からプラスに転じました。「退職し

間て加入を進めるとともに、組合の集会・行動に参加を呼びかけ、来春の新人拡大に参加する青年を増やします。

非正規雇用の仲間の拡大

非正規の組合員は全体の約1割です。全ての組織で非正規の組織化を位置付け、要求実現と結合して取り組みを強めます。無期転換の学習会を開催するなど、無期転換チラシも活用して、組合に入って安定雇用と処遇改善を実現しようと呼びかけを広げます。

転・退職者の継続加入

年間1万人を超える転退職者の継続加入は、20万医労連達成のためにも不可欠です。転退職者に対して、労働組合と共済の継続加入・新規加入

新組合・新規加入

全ての加盟組織で、一つ以上の新結成・新加盟の計画を具体化します。全労連総がか

医労連共済の活用

非正規や転退職者に対する専用チラシも活用して医労連共済を活用した取り組みを一層強めます。組織拡大月間における共済学習会の取り組みを重視します。

医師への加入呼びかけ

医師への呼びかけチラシも活用し、過労死・過労自殺をうむような働き方を変えようと、労働組合加入を積極的に働きかけます。

新組合・新規加入

全ての加盟組織で、一つ以上の新結成・新加盟の計画を具体化します。全労連総がか

介護分野の組織化

「いい介護がしたい」「暮らしていきける賃金」など要求実現と結合して組織化を進めます。加盟組合がある法人が経営する介護事業所は、早急に組織化をすすめます。

組織強化、争議

新設された組織拡大強化特別会計の活用を中央執行委員会が具体化し、組織強化、学習教育活動を強化します。争議対策会議を、春闘討論集会(11/30〜12/1)時に開催します。

※詳細は、発049参照。チラシはホームページからもダウンロードできます



大島 賢 全JCHO病院 労組書記

「見える行動」で3倍化

2001年からの病院売却と廃止闘争で半減した組合員の回復と5500名組織の実現に向け奮闘しています。

全JCHOに移行した翌年から「組織拡大3カ年計画」を実施。その翌年、うつのみや病院の売却問題が浮上しました。地元自治会も巻き込んだ支部の踏ん張り、売却を撤回させ、「見える行動」によって組織も70名から200名以上に3倍化しました。大きな経験でした。「見える行動」「青年集会・老健施設会議再開」「幹部に自信を持た

せる運動」を3本柱に据え、この2年少しずつ増えてきました。さらに5000名に向け奮闘します。

日本医労連「全国最賃アクションプラン」展開図(案)

「最賃アクションプラン」に関する学習・意思統一をすすめてみましょう。

| | 2017年度 | | | | | | | | | | | | | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | | | |
|--------|------------------------|-------|----|--------------|------|--------|-----------------------------|------------|----|--------|----------|----|---------------|--------|--------|---------------------------------|--------|--|--|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | | | | | | |
| 会議・行動 | 定期大会 | 代表者会議 | | | 中央行動 | | 春闘討論集会 | 中央委員会署名等確定 | | 中央行動 | | | 定期大会 | 中間総括 | | 産別最賃実現めざす | | | |
| 日本医労連 | 学習・パンフ・資料発行 | | | 「疎明書」作成 | | | | | | 厚労省に申請 | 中央団体など要請 | | 「疎明書」の補強改定 | | 厚労省に申請 | 厚労省に申請 | 厚労省に申請 | | |
| 加盟組織 | 職場学習・意思統一に取り組む(17秋闘) | | | | | | 経営者に協力要請 | | | | | | 未組織、介護事業所など訪問 | | | | | | |
| 署名 | 「夜勤交替制労働の改善署名」(秋闘の最重点) | | | | | | | | | | | | | 署名最終 | | 「夜勤改善・大幅増員」の国会請願署名は2018年度方針で具体化 | | | |
| | | | | 厚労省宛「産別最賃署名」 | | 初回署名提出 | | 署名の補強検討 | | | | | | | | | | | |
| | 全労連「全国一律最賃制度」署名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自治体請願等 | キャラバン行動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 「医療計画」「夜勤改善・増員」の取り組み優先 | | | | | | 最賃の地方議会請願開始、公契約(条件のあるところから) | | | | | | | | | | | | |

2017年「看護職員の労働実態調査」結果

依然深刻な看護職員の実態

— 深刻な人手不足、過酷な夜勤・交替制労働、求められる夜勤改善と大幅増員 —

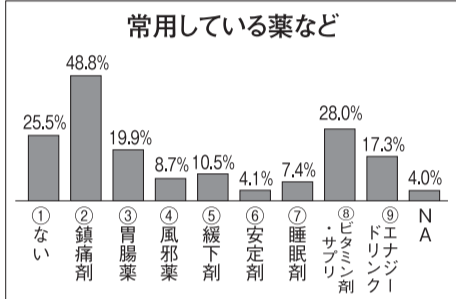
日本医労連は「2017年看護職員の労働実態調査」をまとめ、9月20日に記者発表を行いました。全国の加盟組織から3万3402人分を集約した結果は、依然深刻な状況でいのちを支える看護職員の姿でした。

慢性疲労・健康不安7割

「疲れが翌日に残ることが多い」「休日でも回復せずいつも疲れている」を合わせた「慢性疲労」は71・7%と7割を超えました。88年調査を約5ポイント上回り、13年調査と比較しても改善されていません。

仕事量の多さ、ストレス

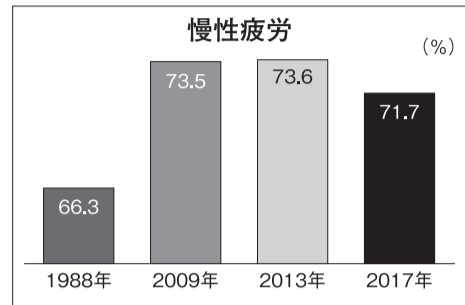
仕事での「強い不満、悩み、ストレス」が「ある」は、62%で6割にも及びました。強いストレスの要因(2つ選択)では「仕事の量の問題」が51・9%と最も多く、続いて「職場の人間関係」26・1%でした。1年前に比べた仕事量は「大幅に増えた」が21・3%、「若干増えた」36・7%を合わせると約6割にもなり、人手不足による過重労働が、ストレスを含む健康悪化を示すデータを高率にしていると思われれます。



3人に1人が切迫流産
流産も約1割

また、自らの健康については「健康に不安」が最も多く55・3%、「大変不安」「病気がちで健康とはいえない」を合わせると67・5%で、前回より7・5ポイントも増加しました。厚労省「労働者健康状況調査」(07年10月)の健康が「非常に不調である」「やや不調である」の合計値をみると「全産業・女性」16・0%に対して、本調査の「看護職」32・8%と2倍を超える結果です。

妊産時「順調」は26・4%のみで、「つわりがひどい」42・0%、「切迫流産」30・5%、「貧血」23・9%、「むくみ」25・2%などで、「流産」も10・0%でした。切迫流産・流産は88年・13年調査の平均値より悪化し、88年調査に比べて5ポイント以上も高い状況でした。



調査の平均値と比較しても、「全身がだるい」12ポイント、「いつも眠い」が6ポイントの増加です。

「仕事量の多さ、ストレス」は、仕事での「強い不満、悩み、ストレス」が「ある」は、62%で6割にも及びました。強いストレスの要因(2つ選択)では「仕事の量の問題」が51・9%と最も多く、続いて「職場の人間関係」26・1%でした。1年前に比べた仕事量は「大幅に増えた」が21・3%、「若干増えた」36・7%を合わせると約6割にもなり、人手不足による過重労働が、ストレスを含む健康悪化を示すデータを高率にしていると思われれます。

態が明らかになりました。健康悪化の要因「夜勤負担、時間外労働の常態化」

3交替勤務の夜勤日数をみると月「9日以上」約4割、2交替では「5日以上」が約5割を占め、「16時間以上」夜勤が2交替の中で依然約5割です。一番短い勤務間隔は「8時間未満」の合計で3割を超え、「12時間未満」では約7割です。「休日でも回復せずいつも疲れている」は、夜勤日数が多くなるにしたがつて高い結果となりました。

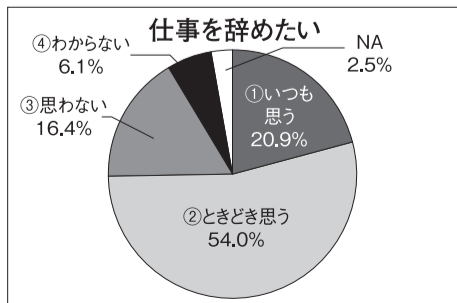
また、交替制にも関わらず約9割が時間外労働を行っており、夜勤交替制労働の過重性を考慮し看護士の過労死が認められた「60時間以上」の時間外労働も0・8%・254人いました。時間外労働も常態化し、約7割が不払い労働(サービスマネジメント)を行っていました。本調査で不払い労働があると回答した人の不払い労働時間の合計は16万4128時間、時間単価を2千円としても総額3億円を超えます。賃金不払い労働の主な業務は、「記録」59・9%、「情報収集」51・0%、「患者への対応」42・2%が多く、「研修」11・8%、「各種委員会」14・2%などでした。

りました。休憩時間の取得程度は「慢性疲労」だけでなく、「健康不安」「ストレス」「健康の自覚症状」などに大きく影響していました。休憩時間が「きちんと取れている」のは「日勤」24・7%、「準夜」14・8%、「深夜」19・9%、「2交替」19・8%と極めて少なく、特に準夜での「全く取れない」「あまり取れない」の計は43・9%と約半分にもなります。

25・8%の順となりました。ライフステージを反映した休日の過ごし方ですが、屋外の趣味は3割で、リフレッシュできる時間が少ないことがわかりました。

セクハラを受けることが「よくある」「ときどきある」を合わせると11・6%、パワハラは28・9%でした。セクハラを「誰から受けたか」では「患者」から7割、次いで「医師」2割強です。年齢別にみると、「20・24歳」「25・29歳」が8割を超えて非常に高く、パワハラでは「看護部門の上司」が約6割、次いで「医師」、「同僚」と続きました。若年層ほど、また前回調査よりも高くなっており、対応が急がれます。

さらにセクハラを受けた経験は1割強、受けた相手は「看護部門の上司」が約7割と最も多く、次いで「同僚」27・9%、「上司」27・9%、「患者」26・0%と続きました。



働き続けられる環境を

この結果を受け日本医労連は、働き続けられる「真の勤務環境改善」の実現と、安全・安心の医療・看護実現にむけて、政府・自治体、経営者に働きかけていきます。

*記者発表には朝日、共同通信など11社が参加、翌21日には朝日デジタル、メディアファックス、赤旗が記事を掲載しました。

退勤時間調査1回はやりましょう

厚労省「労働時間の適正な把握のために使用者が置べき措置に関するガイドライン」

「黙示の指示」も労働時間

厚生労働省は、「労働時間の適正な把握のために使用者が置べき措置に関するガイドライン」(以下、新ガイドライン)を策定しました。新ガイドラインは、労働時間の適正な把握は使用者の責務であることを明確化し、あらためて労働時間とは何を指すのかを示しました。

医師・看護職等で発生する「長時間労働」「不払い残業」を解消するため、この新ガイドラインをおおむね活用しましょう。

ここがポイント

- 業務に必要な準備行為も労働時間
- 黙示の指示(もくじのじ)も労働時間
- 不払い労働の温床=「自己申告制」にメス
- 労働時間の管理の原則は、現認もしくは客観的記録
- やむを得ず「自己申告制」を取る場合でも...

日本医労連 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 医療労働者部 (電話) 03-3875-5871 (FAX) m-lab@youden.or.jp

「サービス残業NO!」

●始業時間前の情報収集●時間外の研究・会議
●配薬●プリセプター業務など
きちんと請求しましょう。
不払い残業は労基法違反!

*退勤調査にご活用下さい。医労連にご連絡を。

10月 不払い労働根絶・年休取得月間

10~11月 母性保護月間

不払い労働を「掃し」、厚労省の新たなガイドラインを徹底させましょう。

ニュース笑アツク

芝罘 ☆ 友衛



医療・介護・福祉労働者のための 医療労働

第44回医療研究全国集会在北海道



8・9月号は、第44回医療研究全国集会在北海道の特集号です。分科会報告、記念講演と特別報告を掲載。購読申込みについては、日本医労連までご連絡ください。



◆高齢の方、早くもストップ
北海道 匿名希望
暑かった夏が終わり、朝晩

◆負のスパイラル
福岡 匿名希望
先日、5歳の息子が就寝前に、ボンッと「ハイワッってだ

◆息子の一言
福岡 チンパンカンパン
先日、5歳の息子が就寝前に、ボンッと「ハイワッってだ

◆秋闘始まる！
千葉 匿名希望
これからは、残暑も落ちつき、朝夕は秋らしくなってくるでしょう。秋闘も始まりま

◆共済、安心して医療を
岡山 ヤス
今年の夏は仕事に家庭にと、忙しくインフルエンザや扁桃腺が腫れて40℃の熱が2

◆バズル解答「サイクリング」
正解者10名様にクオカードをお送りします。
【投稿募集】「読者のページ」は第4木曜日に掲載。職場のホットな話題をお寄せください。

ザクロスワード
出題▶モロゾス三勝
1 食用にもします
4 山口百恵のヒット曲
7 まつたけレシピの一つ
9 杵(きね)の相棒は?
10 商.....、紅.....
11 高みの席。天井.....
12 仙台銘菓。萩の.....
14 88歳は米寿、90歳は?
16 栄養.....。...パー。
18 宮城県の人気日本酒。.....かすみ
20 恐れをいだかない心。
21 見えつ張り。.....男
23 街宣行動に必須
24 魔よけ用に屋根の上に置きます
26 病原体から作った薬
27 過去、現在、.....

秋の共済加入推進月間
(10月~12月)が始まります。この月間は、毎月の組合員拡大で秋に6千人の仲間を迎え入れようとする組合員拡大強化月間にあわせて設定されています。

【問題】A~Fを並べてできる言葉は?
■タテのカギ
1 松飾りともいいます
2で鯛を釣る
3 キューバのラテン音楽
4 再生紙の原料
5 ライオンやトラなど
6 秋の七草の一つ
7 医師が住んでいない村
8 スプーン
9 大阪人が食い道楽なら京都人は?
10 小魚を甘辛く煮付ける
11 千人.....。百万馬.....
12 倒木や火事.....。これによる被害は甚大
13 離婚後は質屋に売れる?
14 黒やギさんが食べる
15 昔話「鶴の.....返し」
おぼれる者はつかむ?

医療の眼
疑惑隠しの「総選挙」
安保法制(戦争法) 強行後も、「国民に丁寧に説明する」と言ってきた安倍総理は、「森友・加計」問題など自身への疑惑に蓋をし、野党が戦略をまとめきれない間に、北朝鮮の脅威を最大限利用して選挙に打って出る。憲法違反と言わ

総選挙、真の争点は「アベじや、ダメ」
日本医労連は「看護職員の労働実態調査」を発表したが、「依然深刻で改善が急務」という結果だった。3月にまとめた「看護・介護労働実態」は、「どの職種も、どの職場も人員不足と労働強化が深刻である。経済大国の日本の政府は国民のいのちに直結する問題を改善するどころか、負担増と給付抑制・制度改革を進めるばかりだ。そこで浮かされた私たちの血税を、軍備増強と大企業の儲けのために放出している。争点隠しのアベ政治だが、真の争点は「アベじや、ダメ」だ。アベ政権を倒すための市民と野党の共闘を、全国で!

中野千香子